

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	道徳教育の研究		
英文授業科目名	Investigation of Moral Education		
開講年度	2006年度	開講年次	1～4年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西野 真由美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
may@nier.go.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 学校における道徳教育は、学習指導要領において「学校の全教育を通して行う」と定められている。広い意味で学校教育の全体が道徳教育と関わっているといつてよい。本授業では、道徳教育をできる限り広い視点で捉え、かつ、教師となる皆さん自身の身近な問題として捉えることができるよう、学校における道徳教育の在り方を様々な角度から考えていきたい。</p> <p>(b) 達成目標： 教員をめざす者として、学校教育やカリキュラムの在り方を道徳教育の視点から捉え、道徳教育の進め方について自らの意見を持ち、表明できる力をつける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
授業テーマ別の参考文献を授業中に提示する。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

以下のテーマを中心に行う。

1. 道德教育の全体像をつかむ。
2. 様々な道德教育理論を理解する。
3. 学校カリキュラムを道德教育の視点で捉える。
4. 現代の教育課題に道德教育がどう取り組むかを考える。

(b) 授業の進め方：

毎回の授業は、レジュメを配布して行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 成績評価:

レポートと期末試験、および出席状況により総合的に評価を行う。

期末試験 45% レポート 35% 出席状況 20%

(b) 評価基準：

レポート提出のない者、出席状況が三分の一以下の者は不可とする。

学校における道德教育の在り方について、授業を通して自分なりの考えを形成し、試験及びレポートを通してそれを表現できることをもって最低達成基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

【その他】